



大坪議員



藤倉泰治議員

# 「野党共闘で新しい政治を」 「新・菅内閣は安倍政治継続」

日本共産党市議団

街頭宣伝スタート

## 9 議会報告 (3)



# ふなやま由美さんと 語る会

元仙台市議 (4 期)



### ご案内

菅内閣が発足しましたが、安倍政治の継続でしかありません。消費税を2回も増税、憲法無視の安保報=戦争法の強行、「森友・加計」「桜」疑惑…国民世論を無視した7年8カ月でした。

総選挙では野党共闘に全力をあげ、東北ブロックでは高橋ちづ子さんとともに2議席を目指しています。

22日、陸前高田市のみなさんとの出会いを楽しみにしています。

9月22日 (火・祝日)

- ①午前10時 陸前高田コミュニティホール2階
- ②午後4時 米崎町・脇の沢自治会館

◎東北ブロック比例名簿登載予定  
1968年宮城県丸森町生まれ、52歳、宮城厚生協会で保健師・看護師・ケアマネージャーとして勤務、2003年仙台市議に当選(4期)、2017年衆院選(東北ブロック)に挑戦、現在、日本共産党宮城県副委員長

大坪涼子議員

伊勢 純議員

### 決算審査

## 今年は予防接種は大切です 住宅再建支援 期限延長を

### 土砂災害の避難場所設定は難しい 一般質問

藤倉議員は10日の一般質問で「千年に1回、2日間雨量589ミリ」の矢作川洪水浸水想定図(県)をもとに質問。下矢作地区は7割が0.5~5.0m浸水することをあげ、避難場所について防災計画では津波の場合市内で152カ所あるが、洪水・土砂災害の場合は24カ所しかない指摘し、改

善を求めました。

中村防災課長は「市内内陸部は災害の危険個所が多く、避難場所の追加は難しく自主防災組織と協議検討」と答弁。

#### 指定緊急避難場所

津波	洪水	土砂災害
152	24	24

16日からの決算委員会で大坪議員は、「コロナ禍の下で肺炎球菌やインフルエンザの予防接種が重要」と強調し、昨年までの予防接種率の状況を質問。それに対し「インフルエンザの場合は約6割」の回答。

同議員は、新型コロナ対策としても予防接種の周知徹底に力を入れることを求めました。

インフルエンザ予防接種率6割

伊勢議員は、来年3月に迫った復興期間の期限、「住宅再建支援の制度を知らない、使っていない被災者」への周知や相談など、寄り添った支援を求めました。これに対し、山本被災者支援室長は「住宅再建の加算金をまだ申請していない被災者が400世帯以上にのぼる。個別に調査を進めている」ことを明らかにしました。

400世帯が住宅再建未申請